〔大正十二年十月廿四日 第三種郵便物認可〕 日刊 十九日發行 昭和八年一月二十日 新京日日新聞 (金曜日) 第三千六百九十號 (一)

夕刊 新京日日新聞

都市施設完備の爲 公債發行可決
十六、七兩日開催された 全滿市長會議に於て

滿洲國五大都市々長會議は十六、十七兩日新京市政公署で開かれたが、右會議に於て左の三件が上程可決された

一、公債募集 都市施設完備の爲め五大都市共同で公債を募集、これが擔保として將來右公債資金により設立さるる水道、電燈會社等の公共施設に充當する募債金額は五大都市の完成迄に約二千萬圓の豫定で各都市その施設額に應じてこれが償還負擔に當てる

二、彩票發行 公債の元利支拂に當てる爲め彩票を發行す

三、視察の件 都市施設研究の爲め今春五大都市各市長並に商務總會會長は日本の六大都市を參觀見學する

顧和德 王奎亭

營口稅捐局 收稅成績頗る良好

〔國通〕奉天省に於ける一等稅捐局(奉天、營口、安東)として省財政に重きを爲す營口稅捐局の一箇年收入は約百萬元で經費は七萬元である、而して昨年初春以來營口縣に移讓された營業稅、牙當稅牧畜稅等は昨年十月以來再び稅捐局の徵稅する所となり、事變以來の混沌たる徵稅制度も各地の匪賊平定治安恢復と共に確立され、加ふるに銀價の暴騰は營口の商況を一段と殷盛に赴かしめ昨年の十月營業稅收入四千四百元は十一月四千五百元、十二月七千元と躍進し又三種統稅收入(麥粉、綿紗、セメント)は十月五萬七千元、十一月八萬四千元といふ有樣で從來の收入(統稅のみ)に比し九十パーセントの增加を示し內麥統稅は八十三パーセントを占めてゐる、而して昨年の收稅額(自一月至十二月)は左の如きものである

稅目	金額
出產稅	八一、七七九元
煙草稅	三三、〇四六
煙草公稅	九、九九三
酒稅	七、一四三
酒公稅	九九五
各項統稅	四二二、八一九
煙草統稅	三三、六一九
酒特稅	九〇三
印花稅	四八、一九七
營業稅	一六、〇六八
牧畜稅	三、一九七
其他	一、八四六
罰款	四、八六〇
合計	八四六、四八五

因に右數字の中營業稅牧畜稅等は十月以降の分だけである

歲入不足を新規事業で補ふ
新京市政公署の計畫

新京市政公署の大同元年度歲出豫算は經常部五十一萬圓臨時費十七萬圓、合計六十八萬圓に對し、その歲入不足を補ふ爲三十七萬五千圓の國庫補助を受けたが特別市制施行につれ行政區域の擴大につれその歲出豫算も倍加するものと見られこれに對し地方稅の增收は約十萬圓を見越されるのみで、市當局ではこの歲入の大缺陷補充の爲、水道並に電燈廠の積極的な營業進出を圖ると共に既報の如く屠獸場及魚菜市場、市營住宅等の新規計畫を以てその財源に充つべく準備を急いで居る

春耕救濟は緊急切迫せる問題
—張實業總長談—

本十八日午後二時半實業部總長張燕卿氏は總長室に於ける在京記者團との會見で鑛業條令公布、農民金融、商標法、森林管理者について約一時間半に亘つて談話を試みたが右の中農民金融問題は最も緊急切迫せるものであると力說して左の如く語つた

結氷期が過ぎれば直ちに地方農村は春耕に入るのだが農民は現在甚しく疲弊困憊の極に達し、政府が適宜に資金を供給しなければ耕作に從事出來ない狀態にある實業部は農は國家財政の重要財源であるから充分資金を融通したいのであるが、今の處六百萬圓以上は財政部も出して呉れまいと思はれる

各省の中黑龍江省は昨夏の水害と馬占山事件の爲め多額の資金を融通すべきだが國家財政が未だ左程豐かでないので充分なことは出來ない

森林管理の件は私が吉林實業廳長時代から今日に至るまで引續き紛糾してゐる問題だが、之は是非とも實業部の所管下に置いて合理的な政策を樹てなければ全滿の林區は徒らに濫伐されて五十年後には滿洲に森林がなくなるであらう、

鑛業に就いては鑛業法案が只今起草中であるから何とも言へないが金鑛其他の鑛山業は原則として政府はこれを監督するに止まり日滿合辦の會社の手に委ねることにならう

中銀ハルピン分行 二十日業務開始

滿洲中央銀行のハルピン分行設立は財政部より十三日附を以つて認可されたので廿日より同市の奉吉業各支行を併合正式に分行の業務を開始、道裡辦事處を道裡支行に改め十八日左の支行主腦部の人事を決定した

經理 何治安
副經理 楊濟物

滿鐵の增資 政府負擔限度
殘餘は滿鐵社債で

〔東京十八日發國通〕拓務省では十八日午前十時滿鐵增資に對する態度決定の爲め省議を開き永井拓相以下關係首腦部全部出席、滿鐵の希望及び對滿關係其他各經濟界方面の有力なる意向に基き三時間餘に亘り重要協議の結果

一、原則として滿鐵の增資を認めること

一、併しながらこれが增資の限度決定については大藏省の負擔額に對する大藏當局の意向も充分に參酌せねばならぬので此の點については永井拓相に一任すること

一、而して增資金額については六億圓案及び八億圓案の兩案あるも政府が負擔し得る最大限度の增資を認め殘餘の金額は他の方面即ち滿鐵社債を以つて補ふことゝなすことに根本方針を決定した

滿洲國追加豫算 二千萬圓程度に落着か

滿洲國大同元年度追加豫算要求總額は約二千萬圓に上り、目下國務院主計處において査定を進めてゐるが大體二千萬圓程度に落着するものと觀測され、一月中に査定を完了、二月上旬迄には國務會議の承認を經て正式決定を見る筈であるが、その財源は豫備金一千五百萬圓と建國公債中五百萬圓を充當されるものである

滿洲國文敎部 高等師範學校を設立

滿洲國文敎部ではさきに各省敎育廳に命じ中、初等學校敎員の敎育程度に就て調査せしめてゐたが、最近各省よりの報告により中初等學校敎員の素質向上の必要を認め新京に高等師範學校並に初等學校敎員講習所の設立を計畫、追加豫算として八十萬圓を計上、目下財政當局と折衝中であり同高等師範學校は收容人員三百余名の豫定で十學級編成とし、入學資格を滿洲國各中等學校卒業生並に日本各中等學校卒業者とし四ケ年の師範敎育を受けしむるものである

た豫算通過後は創立委員會を組織し本年九月一日より開校する豫定である、又初等敎員養成所は全滿敎員一萬余名を順次新京に招集三ケ月間の敎育を實施して滿洲國の建國精神たる王道主義及時代に順應せる敎授法の講習をなし素質の向上を圖ると共に第二の滿洲國民を養成せんとするものである

で講習は來る二月一日より開始し第一期講習として各省から三百名を招集する筈である

梅津少將來京す

〔國通〕參謀本部總務部長梅津美治郎少將は平津地方の視察の歸途十八日午後七時五十分着列車で岡村參謀副長以下關東軍幕僚多數出迎へ裡に直ちに滿洲屋旅館に入つた、驛頭同少將は語る

平津方面はざつと素通りして來た、明日一日新京に居る、それから東京に直行するかどうかは明日の打合せの結果決る事になつてゐる

尚同少將は明日軍司令部に於て種々重要打合せを爲す筈

東拓社債一千萬圓發行 滿期社債一千萬圓は借替

〔東京十八日發國通〕東拓では二月十五日所管滿期の社債一千萬圓借替と滿蒙方面の新規投資金一千萬圓社債發行に決定し關係銀行に交涉中である

西尾第四部長來京

參謀本部第四部長西尾少將は十七日午後六時着の列車で入京滿洲屋旅館に投宿した、少將は今回の事變に我將士が奮戰した各地の戰跡を視察し戰史資料を蒐集する豫定である

全國不渡手形額 二百五十八萬圓

〔東京十八日發國通〕東京手形交換所調は昭和七年度全國不渡手形二百五十八萬圓で前年度より六十四萬圓減で十二年ぶりの最小記錄を示してゐる

滿洲國側記者を招待 坂田第四課長

前日來任した坂田關東軍第四課長は今夕在京滿洲國側記者を大陸春に招待し新任披露の宴を張つたが席上軍側と記者協會側から隔意なき意見の交換があつた

興銀五分利附債券 千五百萬圓發行

〔東京十八日發國通〕興銀では五分利附興業債券千五百萬圓發行と決定し昭和十二年二月及十年七月期限の大分五厘興業債券を二十二日繰上げ償還する事となつた、應募者利廻は[illegible]分二厘九毛二絲である

怪人凱歌 (百二十二)
(舞臺上演 映畫化) 須藤鐘一 (畫)瀧秋方

[illegible] (四)

『おや、あの家で役者を仕立てゝ瀧田や日活なんかへ賣りつけるのだね?』

品川はづれの裏長屋の路地では暇なおかみ達が、米屋の小僧相手に、また例の俳優養成所の噂をしつゞけてゐるのであつた。

『まア、そんな譯ですが、實際は何をやつてるのか知れたもんぢやありませんや』と、小僧の方は年に似合ぬませた事を云つて、せゝら笑ひをする。

『どうして?』と、又一人のおかみが、何か面白い話しの種を引出さうと問かける。

『どうしてツて、あんな看板をかけて、田舍出の若い娘を誘惑しちや、汚したり賣り飛ばしたりするのが多いと云ひますからな。油斷は出來ませんや』

小僧は新聞なぞで、そんなことを讀んでると見えて、一ぱし、世間通のやうな口をきく。

『なるほど、さう云へばあの家の所長とかいふ男も、何だか食へないやうな顏をしてるね』と、おかみの一人が聲を低くして、合槌を打つた。

『それに、あの二階が怪しいんですよ』と、小僧は、さも何か秘密でも知つてるやうな口ぶり。

『へえ?』

『どうして?』

おかみ達の、事を好む心は、いよ〳〵煽り立てられる。

『何でも、良い家のお孃さんなんかを攫つて來て、あの二階の室へ閉めておくといふ話しも聞いてます』

『まさか?』と、半信半疑のおかみもあれば、

『まア怖いわね』と、肩をすぼめて仰山に眉をひそめるおかみもある。

『おい、さあちやんなんか別嬪だから、用心しないと攫つて行つて閉められるぞ!』と、そのうちの一人は傍らにきたならしい赤ん坊を負ぶつて大人の話しを聞いてゐた鼻の赤い、いつもベソをかいたやうな顏の子守女に冗談をいふ。すると、女は、それでも顏を縮らめて、

『へヘッだ!』と、口をゆがめて見せて、さつさと行つてしまつた。

その後を見送つて、一同はどつと笑つた。

『わたしなんか、誰れか攫つて行つてくれるといいんだけどね。もう斯うなつちや其處にゐるかとも云つてくれないや』と、一人の年増はしんから寂れつぽい聲でつゞける。

『あゝ厭だ、年をとつちや人間すべてがおしまひだね』

『なアに、車屋のおかみさん、そんなに悲觀したもんぢやないよ。此の間も新聞で見りや、カイゼルの妹なんか六十幾つで若い燕と結婚したと云ひますぜ』

小僧は又しても新聞知識をふり撒く。

『ほゝゝゝ』

『さらだ〳〵』

『はツはゝゝ』

一同はあたり構はず大口あけて笑ふのだつた。

長閑な冬日和の午後三時すぎで豆腐屋のラッパの音が、遠くの方で鳴つた。

此の時、問題の日本演劇映畫俳優養成所の二階の一室では、人目を忍びながら紙きれに短い鉛筆で何か書いてゐる少女があつた。

その二階は日本間で八疊と六疊、窓には太い鐵格子がはめられ、廊下との昇降口には嚴重な錠がおろしてあつた。米屋の小僧の云つたやうに、成る程、此の二階には三四人の女が閉めこめられてゐるらしい。

あちらの窓際に腹はひになつて雜誌を讀んでゐるもの、新聞でもしてゐるのか、屏風のかげで布團をかぶつて寢てゐるものもゐる。みな十七八から二十二三位までの美しい女ばかり。之れが俳優志願の女たちだらうか?

少女は、何か書き終ると、こちらへ向き直つた。

その顏を見ると、つい二三日前の夜、銀座裏の淺田醫院からの歸りがけに、突然姿を消した山路千鶴子であつた。

最後には聯盟脫退
第十五條四項適用の場合を覺悟
聯盟の日本牽制策に對し 外務省極度に憤慨

〔東京十八日發國通〕聯盟が小國側の反對を口實にドラモンド總長、杉村次長の妥協案を一片の反古として棄て去らんとする如き宣傳を流布し日本を牽制せんとする態度に出でつゝある事に對し外務省は極度に憤慨して居る、外務省としては今回の交渉は必ずや成立するものと期待して居るが、若し十五條第四項の和解勸告手續に入つた處で其の効力は極めて微弱なものであり、且第四項の發動に依つて日支問題は實際的に聯盟の手を離れ聯盟對日本關係の一切が清算される事となるを以て、斯る際は潔く聯盟脫退を敢行するのみとし飽迄強硬態度を固めて居る

樂觀を許さず
代表部よりの情報

〔東京十八日發國通〕ジュネーヴの情報は我が修正案に聯盟側が難色を示し十八日の十九ケ國委員會で十五條第四項發動を見やうとの形勢なるが外務省にも樂觀出來ぬとの情報あり、外務當局は第四項の發動を覺悟してゐる併し右勸告案は滿洲の原狀復歸不可能と滿洲不承認を表明して小國中の滿洲自治領案に關する日支直接交渉勸告に留まると觀られ萬一聯盟が斯る案にて帝國政府を強壓すれば三月二十五日閣議決定の聯盟脫退に邁進する外ないと決意を固めてゐる

和協努力に
松岡全權あく迄頑張る

〔ジュネーヴ十九日發國通〕十八日午後零時ドラモンド氏と松岡全權と會見したが、松岡氏は非聯盟國招請の理由無き事を說明すると同時に實際方面からアメリカ參加は滿洲の事態を解決せずと繰返し力說し事務總長の印象を新たにし第三項による和協努力を今一息ふん張る事として別れた模樣

最後の肚をきめ折衝に努む
松岡代表決意を語る

〔ジュネーヴ十八日發國通〕我代表部の第二次首腦部會議後松岡代表は語る

十八日朝ドラモンド總長に會ひ度いと思つて居るドラモンド總長は杉村次長との折衝で大方云ひ盡されたが十九箇國委員會の空氣が支那側の不平を氣にしてすつかり參つて居る樣だ併し自分は折衝に希望を棄てゝは居ない、勿論最惡の場合は腹を定めて居るが飽迄も押す、殊に訓令に依る日本の主張が合理的である以上大いにやつてよい、日本は決して米國の招請に反對と云ふのではない、聯盟の事は聯盟でやれと云ふのだ日本の主張は根強い根據があると確信して居る十五條第四項に移る事に決定したとの說を聽かないではないが十八日の十九個國委員會で直ぐ之に移るものではない事は確だ、兎も角も折衝し得るだけやつて見せる

イーマンス議長
松岡全權に會見を申込

〔ジュネーヴ十八日發國通〕イーマンス氏は十九個國委員會での決定に基き我松岡全權に會見を申し込んで來た松岡全權は午後七時二十五分事務局長室でイーマンス氏及ドラモンド氏と會見イーマンス氏から本日の會議經過並びに決定の報告を聽取し二十日迄に回答ありたいとの要請を受けて辭去した

十九國委員會
會議の經過

〔ジュネーヴ十八日發國通〕本日の十九ケ國委員會は前後約三時間に亘り激論を續けたが會議は俄然急轉回を見せ日本側が十月十日十九ケ國委員會決定の現起草々案に同意するならば米露招請の條項を削除するとの試提議を可決し、之に對する日本政府の回答を二十日まで待つことに決定散會した

再回答を俟つて
二十日更に續會

〔ジュネーヴ十八日發國通〕本日午後四時五分より開會された十九個國委員會は前後二時間四十五分に亘る審議の後六時五十分散會した、來る二十日更に會議を開き日本の再回答を審議する筈、出席者は十六日の委員會と同樣

米極東政策
フーバー政策を踏襲

〔ハイロパーク十八日發國通〕次期大統領フランクリン・ルーズウエルト氏は本日大要左の如き談話を發表した、即ち極東政策に關しては現政府と全く意見を同じうするものである、各國に關する米國政府の發明は國務省より發せらるゝは勿論であるが余は米國の外交政策は國際條約の精神維持に發足しなければならぬものなる點を明かにするものである別言すれば國際條約を維持する事が各國嚴存の基礎である尚ほ國務省が駐外大公使に對し米國は日本の支那に於ける武力獲得の一切を承認し難いとの通牒に對して何等の批評を加へなかつたが右は米國の極東政策に關する共和、民主兩黨の意見が合致してゐる事を愈々明にするものと見られてゐる

更に來る三月の大統領就任に際し極東問題及び各國財政々策につき率直に自己の見解を聲明するものと豫期されてゐる

十九國委員會
事實上の最後通牒を 議長に依囑

〔ジュネーヴ十九日發國通〕十九個國委員會は和協發見の期間を今週末迄延長すると決しイーマンス議長に日本は十二月の委員會決議案から米露招請を削除する決議原案を受諾するか否かを今曉又土曜迄に回答する事、若し日本が拒絕せば十九箇國委員會は十五條四項に移るべき事を日本に通牒する事即ち日本に對する實質上最後通牒とも云ふべきものを差出す事を依囑した

重ねて決議案受諾を求め來る
我修正案一蹴の容ち

〔ジュネーヴ十八日發國通〕本日の會議では杉村ドラモンド妥協案に關する帝國政府の修正回訓案並びに理由書草案に對する十二月二十六日の支那側修正案を審議した、日本案が原決議並に該草案を緩和せんとしたものであるに對し支那側の修正案は更に之を硬化したものであるは言ふまでもない處で結局委員會は先づ日本案を審議する事を以つてより實際的であるとの決定に達し、先づ日本案より審議の結果日本の修正案は數點に於て受け容れ難いものであるが米露招請に關する日本の反對は日本が他の部分を受諾することを條件に容認するに決し日本政局の諾否を徵するに意見一致を見たものである、本日の會議では屢々激論が鬪はされたが結局殆んど前記決議試案は可決されたので各國委員ともこの決定を滿足とし殊に強硬論の急先鋒たるアイルランド代表レスターン氏の如きは本日の結果は大いに滿足だと述べた位である

外務當局の觀測

〔東京十八日發國通〕十七日の米國上院が三分の二の多數を以つて比島獨立案を可決したるに對し、我外務當局は同島獨立を左の如く觀て居る

一、政治的意義、米國が比島獨立を許す事によつて同島を中立地帶とする事は表面米國のモンロー主義が確立强化する事となり米國として利益である、日本としても一應此點を認め得る

一、軍事的意義、米國は同島の海軍根據地をあくまで堅持すべく斯くては所謂中立地帶に米國のみが海軍根據地を有し此の不合理なる點は除去しなければならぬ

一、財政的意義、比島獨立に依り米國政府の支出經費は却つて緊縮され米國の利益であるこれ比島議會が却つて獨立に反對してゐる理由である

一、經濟的意義、比島の必要產業は砂糖であり之が無稅で米國へ輸出されることは米本國として損であり殊に米國南部農業の利益を代表する新大統領民主黨の政策と相反する比島の獨立により砂糖輸入稅を附課し且つ同島より米國勞働移民を制限し得る利益がある

比律賓獨立
日本は歡迎する

〔東京十八日發國通〕フィリッピン獨立案可決に對し外務當局は左の見解を有してゐる即ち

東洋平和の指導的立場に立つ日本としては歡迎する、日本はフィリッピンに對し經濟的關心を持つ外何もない從つて此の結果、日米國民の感情は緩和される、併しマニラ軍港に海軍根據地を保有するに於ては東洋に對する武力的脅威は依然存續する由で油斷は出來ぬ、殊に十年間の猶豫期間あるから其の間に、情勢變化せば再否認の擧にも出ようと

泣つく
學良米公使に

〔北平十九日發國通〕先般來平した外交次長劉崇傑は學良の意を受けて米國公使ジョンソン氏、佛國代事ウヰルデン氏等と折衝し山海關事件經過及び熱河問題に關し支那側の立場を傳へて各國公使を通じ聯盟の對日强化を圖らんと策動しつゝあるが十八日左の如き談話を發表した

何柱國が十二月九日、日本側と調印した第一次山海關事件解決書は既に完全に破棄され無效に歸したが學良は萬事中央の命により行動しつゝあり、問題の地方的解決云々は日本側の外交的煙幕に過ぎず時早その手に乘らぬやう米國各國公使と折衝して居る

學良軍の橫暴に
細民怨嗟の聲を放つ

〔北平十八日發國通〕昌黎・灤河、唐山から揚村通州等にかける小地域は今や學良軍を始め山西軍等の集結されるもの約二、三萬に達してゐるが同地方住民は軍隊の徵發住宅占據等を恐れ昨今天津市內に向け避難者續出するに至つた殊に昌黎縣の如きは寒氣强く軍隊は暖をとる爲細民の家屋を破壞し燃料としつゝあり住民は怨嗟の聲を放ち縣知事は逃亡するに至つた

劉萬魁
命からぐ逃亡

人見支隊は十八日積雪を蹴つて劉萬魁匪の潛伏せる柳木林子を急襲したに不意を襲はれた劉は武器をとり抵抗を命ずる遑もなく棄て準備されてあつた橇十五台に一族六十名を分乘せしめ部下五百名と共に露領へ遁入した支隊は午後一時二十分凱歌を上げて夾心子に引上げた

徐景德劉斌も
露領に逃込む

〔チチハル十八日發國通〕黑河の徐景德は歸順を表示しこれが接收の爲め當地より周作霖旅長一行が黑河に向ひつゝあるが徐景德は今日迄に已の犯した罪惡に恐れを爲し部下に對し黑河に殘り滿洲國に歸順する樣との訓示を與へ自らは露領ブラゴエシチエンスクに逃亡、尙嫩北にあつた劉斌も露領に逃亡したと言はれて居る

英國軍艦々長
停戰交渉に乘出す

〔天津十八日發國通〕秦皇島在泊中の英國軍艦々長が去る六日開灤炭坑秦皇島出張所長キルトン氏を伴ひ津田第二遣外艦隊司令官を訪問し日支停戰の調停役を買つて出たが我方から拒絕された事は既報の如くであるが十七日右兩名は何柱國を訪問し次いで十八日我秦皇島守備隊長染谷中尉に會見を申込んで來た右は何柱國より依賴を受けたもので日支停戰交渉の橋渡しをなさるやも圖り難いとされてゐる

支那軍頻りに策動を圖る
熱河東部に潛む

〔奉天十八日發國通〕熱河東部に潛在する救國軍僞勇軍は過半の山海關事件以來學良より多數の武器彈藥の給與を受けて積極的行動に出で滿洲國の攪亂を謀りつゝあるが彼等の幹部は北平軍事委員會より派遣された軍官學校卒業生で救國敢死隊と稱し前線に出動して軍事工作に從事し作戰に腐心してゐるがその戰略は凌源東北各縣の縣城を攻略し奉山線打通線の幹線を破壞し占領區中には正規軍をもつてこれに當らしめんとしてゐるが、舊曆正月元日を期して總攻擊に移るべし、と豪語してゐる

塘沽の兵器工廠を
張家口に移す

〔北平十八日發國通〕山海關前線は睨み合ひの儘進展しないが學良側の我が積極的進出を恐れる事甚しきものあり塘沽に在つた造船所の如きも遂には日本軍によつて爆破を免れずとし其一部機關銃製作工場は一昨日來貨物列車十數台に分載張家口に移轉するに至つた

學良夫人避難

〔天津十九日發國〕山海關事件以來張學良湯玉麟其他要人連は北平及び天津外國租界に金品を搬入してゐたが、去る十六日學良夫人于鳳至女史は鐵製トランク七個に貴金屬を一杯詰め秘書、副官衞兵六名を從へ當地フランス租界の私邸に運んで來た、近く上海へ赴くとの噂もある

支那艦
塘沽を警戒

〔天津十九日發國〕塘沽方面の近況左の如し

毎日多數の軍隊輸送列車が灤州方面に向つて居り支那側は午後九時以後通行を禁止し兵營內に迫擊砲を運び警戒を怠らない

尚塘沽造船所前には支那軍艦鎭海、楚玉、定海、江利、同安の五隻が碇泊してゐる

錢家店歸營
興安嶺警備軍

十六日興安嶺警備軍五百騎は通遼に來り元團部に宿泊、十八日錢家店に歸營した

北平の人心動搖

〔北平十九日發國通〕本日の支那紙は日本軍熱河攻擊と題し熱河省境を日本軍が攻擊、爆擊し居り而も何れも支那軍の爲擊退されて居るとの例に依つて支那流のデマ諸言を大々的に報じて居るが之が爲却つて人心の動搖を激化し、遂に本日に至り市內の要所々々に軍事委員會北平分會の名で謠言取締と官吏、軍人の北平よりの逃避を禁止する旨の布告を貼るに至つた、布告文中には政界の要人並びに官吏は政務の要職にありて人心の鎭靜に努むべきものが北平より續々逃走しつゝあるを詰責せる文字あり、悲痛な內情暴露を示して居る

通遼開魯間
バス襲はる

十六日開魯を出發して通遼に向つた開魯間バスは通遼西方二十五支里溫泉花附近に於て巡警服を着せる約十數名の匪賊に襲はれ衣服及び現金二千元を掠奪された、通遼には警務分局員二十名あり目下犯人嚴重搜査中である

兩事變の論功行賞
近く公表の運び

〔東京十八日發國通〕上海事變の陸軍側戰傷死者林少將以下の論功行賞は賞勳局で大體終了、本月下旬公表となつた右と同時に滿洲方面の戰死傷者百名のも發表される筈である

民政黨院外大會
亞細亞モンロー主義を强調

〔東京十八日發國通〕民政黨院外團大會席上で松田幹事長は左の演說をなした

國際聯盟は規約第十五條第四項を適用せんとの氣勢なるが毫も恐れず滿洲國は聯盟により成立したのではなく民族自決に基く以上亞細亞問題は亞細亞モンロー主義を確立するのみである

駐日露大使
陸軍首腦部招待

〔東京十八日發國通〕近く歸國する露國大使トロヤノフスキー氏は滿洲問題、日露不可侵條約問題等日露兩國間の微妙な關係ある折柄十八日午後八時から大使館に荒木陸相、眞崎參謀次長等陸軍中央部首腦者を招待して晩餐會を催す事になつたが、陸軍側から柳川次官、山岡軍務局長、飯田高級副官、村上中佐參謀本部から永田第二部長、松本歐米課長、笠原ロシア班長等出席する筈

小合隆の匪歸順

十八日午前六時新京を發し小合隆に向つた新京警備隊長葛城中佐指揮の日滿聯合討伐軍は同午前十時目的地に到着せるに匪軍の群は皇軍の武威に恐れをなし一部逃亡せるものを除き他はことごとく武器を引渡し歸順した、匪首青天以下の匪賊は葛城隊長の訓辭に對し、何れも淚を浮べて滿洲國に忠誠を誓つた

毛得勝吳得財
歸順

十八日岫巖に於て毛得勝、吳得財は部下三百四十名を率ゐ歸順を申出たので五田部隊長は小銃二百十七彈藥五千發を押收して之を許した

洞江の匪賊
續々歸順

洞江附近に蟠居してゐた路永才は十七日富錦警備隊小濱中佐の下に歸順し劉斌も亦歸順を申出した第〇師團は今回討伐の目標たる兩軍首領をそれ

海軍辭令

〔東京十八日發國通〕

羽黑副長 海軍中佐 原田龜
補嵯峨艦長
嵯峨艦長 海軍中佐 中原三郎
補軍令部出仕
保津艦長 海軍中佐 小島正
補羽黑副長
海軍少佐 清水健
補保津艦長
海軍少佐 桑原重遠
補軍令部出仕

黑河接收に
周作霖旅長出發す

〔チチハル十八日發國通〕黑河接收の爲め周作霖旅長は十八日午前七時當地發二十五日黑河に到着の豫定である、黑河に特務機關を開設すべき橫井少佐及稅關吏、公安局員、電燈局員、中央銀行員等は周旅長と同行したが秋田滿洲國通信社特派員も日本新聞記者の黑河入り第一人者として同行黑河に向つた

列車爆破事件
學良の仕業と判明

〔奉天十八日發國通〕昨十八日滿鐵線湯崗子千山間〇列車爆破事件は張學良の仕業であること此程判明、其筋では目下犯人嚴探中

共產軍南昌に迫る

〔南京十八日發國通〕九江よりの情報によると江西の共匪朱德、毛澤東軍は既に南昌を去る百支里の地點に迫り南昌は舊正月迄に完全に共產匪軍の手に落ちる形勢にある蔣介石は二十日迄に九江に來りその對策を講ずる筈

人事往來

▲五十嵐中銀理事 二十一日ハルビンへ
▲篠原大佐（關東軍高級副官）十九日午前八時歸京
▲若市中佐（步兵七十九聯隊附）同上
▲福田中佐（步兵第七十八聯隊附）同上
▲河本滿鐵理事 同上
▲山口衛生課長（關東廳衞生課長）同上
▲堤少佐（ハルビン兵站支部長）十九日午前八時四十分ハルビンへ
▲島田三等主計正（關東軍經理部員）十九日午前九時奉天へ

一九三三年の劈頭を飾る チップ解消？

赤玉の女給あけみを繞り エロナンセンス

松の内の醉もさめた筈の今日此の頃一金百圓也の新京としては超チツプを返す返さぬの大騷ぎが十六日から三日間に亘つて赤玉カフエーを舞台として持ち上つた（寫眞はヒジ鐵を喰したあけみ）

十六日夜市內赤玉カフエーを飄然と訪れた四十年配の遊び人風の男が自分は關東軍○○閣下のコツク檜ト某で腕にかけては日本一、金は羊に

食はす位 あると大ホラを吹きまくつた揚句、三圓何十錢の勘定を拂ふのにポンと百圓札一枚投げ出し受持の女給あけみに「此の金は俺が市內某々料亭主人と○○をして勝つた金だ、お前は大へん氣持ちのよい女だ、條件も文句もなしでつりは全部呉れてやる」と言つた迄はよかつたが「これから支那風呂につき合はないか」とそろ／＼本音を吐きかけた、其處はぬからぬあけみ、風に柳と態よく拒絕してその場はおとなしく引揚げた檜下某、翌十七日夜市內香兵衛から赤玉のあけみ、もい子の二名を呼び出し、もい子には何分の助力を頼むと自分の金の腕時計を與へ、再びあけみを口說き落さうとしたが、今度は「赤玉のあけみは金で自由になる女ぢやあないよ」と得意の一擊にガンとやられて了つた

ヒジ鐵を 食つて見れば今更惜しい百圓のチツプ、其處で金の返還ならぬ、チツプ解消を申込んだが、女給の方では「百圓は貰つた金で身を賣る約束の金ではありません、あの金はもう借金拂ひに使つて了ひました」とのこの返事に檜ト某烈火の如く怒つた、かくてその夜十二時頃同じく職人風の男二人が用心棒として赤玉に現れ、主人を呼び出し「○○に負けたから是非あの金は返してくれ、何、返せない、それではてめいも女と共謀になつて俺をダマして捲き上げたんだ」と大啖呵、其處に居合はせた滿洲國○○が入るやら、腕に覺えのお客が飛出すやらで赤玉は上を下への大騷ぎあまりの騷ぎに近くの交番からお巡りさんまで飛出して來たは來たものの金の返らぬ中は話のつく筈はなく、さりとて事を荒立ては日本一の腕にも關する事だし、且つ金の出所を追及されればトバツチリのかゝる人の出る恐れもあり、結局代檜下某午前四時頃すご／＼引上げた、十八日の晝三度赤玉を訪れて話し込んだが、到々金は戻らず、結局儲けたのは女給のあけみ、その金でスウちやん

星の○○ さんと二人で遊び廻るんださうで凄い鼻イキだと言ふ、チツプ解消、一九三三年の劈頭を飾るエロナンセンス終り……

朝鮮國境警備隊員に 眞綿を御下賜

【東京十八日發國通】皇后、皇太后兩陛下には酷寒に朝鮮國境の警備に從事しつゝある二千六百の警察官の勞苦を思召され防寒用眞綿御下賜の御沙汰があつた

無許可雇入が又殖えて來た

新京署の取締嚴重

新京署保安係では齊藤主任指揮の下に內田警部補以下係員一同は時節柄旅館、下宿屋、料理店、飲食店、カフエー等をはじめ各方面の取締に全力をあげ、酷寒をもいとはず各戸毎に訪問營業狀態の實地に就いて詳細の調査をなしつゝあつたが、十九日ほどこれを終了した、實地調査に專念してゐた門田警部補を訪へば感想の一端を語る

取調も漸く一段落を告げたが詳細の事は何れ後日發表するが最近又飲食店、カフエー等の無許可雇入れ及規定以上の人數を使用してゐる處が非常にふえて來た、各店によつて同一料金の料理のに極端な差異を生じてゐるのも見逃せぬ事で、一皿幾らと云ふ指定になつてゐるのでこういふ脫法行爲をなすのであらう、今後は必ず料金に相當した品を提供する樣訓戒を與へた、なほ藝酌婦、女給等の取締方面については兼ね／＼細密の注意を怠らぬ樣に嚴命してゐるが、未だ措泥して居らぬ樣に見受けられたので其の點に付いては特に嚴重な注意を與へ、上品で愉快なサービスで客を滿足させる樣に指導し、服裝も華美に流れぬ樣に質素で淸潔を旨として收入より以上の負擔をさせぬ事が最も必要な事で、往々面白からざる結果を招來するのである、現在女給等の收入は約七八十圓から多いのになると百七八十圓に至るので生活には何等不自由を感ぜず少々の貯金位は優に出來るわけで將來は必ず貯金を奬勵する樣營業者に注意を與へておいた

本年最初の强盜 尾上町雜貨商を襲ふ

本年初强盜十九日午前九時頃市內尾上町六丁目雜貨商馮萬選四四方へ拳銃を所持する四人組の强盜押入內一名は見張り家人を脅迫した上現金六圓余と腕輪、耳飾を强奪逃走した、急報に接した新京署司法係では倉田主任以下各刑事連は時を移さず現場へ急行搜索に努めたが遂に發見するに至らなかつた

軍司令部の種痘

最近天然痘猖獗を極めつゝあるに鑑み關東軍司令部では昨日午後一時から武藤軍司令官始め傳令に至る迄全員種痘を行つた

軍司令部員 新官舍に移轉

關東軍で昨年十一月新京に移轉以來司令部員の官舍に窮し元守備隊の將校官舍や兵營に合宿して極度の不便に耐へて居つたが、新築の宿舍が出來上つたので今十九日一勢に引移ることゝなつた、此の新宿舍といふのも極寒を控へて急造されたバラツクに等しいもので將校連も一人一部屋の苦しいものだが、前線の兵士の勞苦を思へば有難い位だと某幕僚は語つて居つた

舊郵便貯金の支拂愈よ決定

一月末請求手續等訓令公布 滿洲國政府準備進む

滿洲國交通部郵務司では昨年九月郵政接收以來銳意舊中國時代における郵便貯金に就き調査中であつたが、此程調査略々完成したので一月末舊貯金請求手續其他に關し交通部訓令を公布する事となつた而して郵務司としてはあく迄舊貯金者の權利を尊重し出來るだけ速かに之が支拂を開始すべく之が準備に忙殺されて居る

東京市疑獄進展 十時、石橋兩氏召換さる

【東京十八日發國通】市疑獄事件は急速に進展し第三助役十時尊、保健局長石橋政治は召喚され今十八日午前九時檢事局に出頭した

永田市長責任辭意

【東京十九日發國通】永田市長は十時助役等が收容されたので責任上辭意を決し本日潮口副議長に辭表を提出する事となり、齋藤、菊池の兩助役も辭任するが後任市長が決定する迄留任する

梅芳流謠曲鶯諷會

新京梅芳流の謠曲鶯諷會の新年初諸會は來る二十九日午前九時から新京神社社務所で開催される當日の番組は

○翁神歌、梅田富三郎　香取政夫
○高砂　上田水足　飯田力、藤吉思靜
○七騎落　鈴木泉、松井靜太郎、川添勇作、二宮軍一、村上春二
○草紙洗　川添勇作、香取操　松島すみ江、鈴木泉
○弱法師　津村德太郎、松井靜太郎
○烏帽子折　鈴木泉、高田重市、安樂俊雄、川添勇作、飯田力
○鉢木　香取操、香取政夫、飯田力
○當麻　藤吉思靜、福田又司　伊東正夫
○船辨慶　津村德太郎、上田水足、村上春二、鈴木泉

外に來賓の「東北」「通小町」獨吟連吟當日組入

尚仕舞は

△蟬丸　丹部子
△笹ノ段　池田和子
△エビラ　香取政夫
△清經　梅田龍晃
番外　△景清　梅田富三郎

滿洲醫學會 廿一日に大會

新京滿鐵醫院樓上で

滿洲醫學會新京支部會第十二回總會及第百回例會は來る二十一日午後二時から新京滿鐵醫院樓上で開催され當日の講演者及演題左の如くであると

一、漢藥管見　高木迪助
一、排泄性×線造影劑に就て　香取政夫
一、所謂後水晶体膣に就て　藤森章
一、戰傷五百例に就て　高原軍醫正
一、血液型より見たる蒙古人　高原軍醫正　佐藤軍醫
一、滿洲に於ける昭和七年「コレラ」流行の概況　伊藤軍醫監　岸本軍醫正
一、腹部大動脈瘤の二例に就て　金久保軍醫
一、鼠蹊淋巴肉芽腫症（所謂第四性病）　市橋貞三
一、患者空中輸送に就て　原野軍醫

特別講演　滿洲醫科大學　松井教授

一、腰下痛の原因及其治療

右終了後、午後六時より懇親會開催

山海關 戰闘の忠勇美談（C）

岩手縣東磐井郡舊民村の人昭和八年一月三日山海關攻擊に當り彈丸雨飛する中を巳に陣地前六七十米の所に至り各人は各々突擊を準備し、細部に關する敵陣地の偵察をなして突入の機至るを待ちつゝあつた中隊長は中隊のお翼の壁上を前途して小隊長の近くに行き、更に前進を續け樣とし小隊長は「彈丸が來る駄目であります」と呼んだが尙中隊長が戰旗を樹立しあるを見て「やられます中隊長が、ナをれては攻擊が頓挫します自重して頂かねばなりません」と中隊長の身を思ふのであつた。依つて中隊長は五六步前の凹部に伏臥して居る中尉が注意するに中尉の左尻は鮮血に染められて居るのを見た「なんだ貴官御自身もやられたのではないか」「はあ左腿をやられました」「後退して手當をせ」「よくあります」「よくはない早くやれ」「大丈夫であります」「突擊をする氣なら未だ多少の時間があるから早くやれ」ともない疲勞して後の仕事が出來んぞ」「では繃帶をします」と中隊長の後方十米程の凹地と云つても敵から全部見える處に自ら帶を解き手當しようとしたが疲勞と今迄張り詰めて居た氣の緩みとで衰弱甚しく顏色蒼白となり、自分での手當は覺束なしと下の方へ發見した佐藤上等看護兵が敵彈も物かわ小隊長を驅けつけて手當をした、其の間に櫻井軍曹がやられましたとの聲を耳にするや中尉は再び「よしくそ仇をとるぞ」と沈毅せる氣を振ひ起し「看護兵早く軍曹の手當をせ、俺はもう大丈夫だ」と戰線に起ちて指揮し、突擊に際しては勇を鼓して第一線に起ち、敵陣地に至りしも愈々加はる衰弱の爲に止むなく、涙を呑んで部下を督勵し其地に留まらざるを得なかつた、然れ共部下を思ふの切なる、單身劍を杖とし跛行して部下の跡を追ふ追ふ遂に天下第一關に至つた

病院に收容せられた後と雖も傷死者に氣を配り自己の治療は後廻しにし、兵の方を先にする樣にと云ひ又戰死者の遺髮、爪を切りて遺族に送るの手配を爲すなど、其の部下を思ふの念切々たる、眞に部下を愛する者でなければ誰がよく此の樣に成し得られやう、部下の勇猛なる又宜なる哉

長岡軍曹は昭和八年一月二日山海關風雲急を告げ○隊出動に決するや步兵砲分隊長として之に參加した

一月三日午前十時愈々攻擊を決行する事になつて步兵砲隊は敵前六百米附近に陣地を占領し射擊を開始した、此間分隊長として常に適切な指揮を行ひ有效なる射擊を敵の第一線に集中する事を得せしめた次いで大隊突擊を敢行するに當り、步兵砲隊は第一線部隊の突擊援助を適切ならしめ樣と、陣地を第一線部隊に近く變換して突擊援助の準備をした偶々敵の迫擊砲彈は步兵砲陣地附近に落下して不幸にも分隊長の左前膊を傷けた然し毅然として動ずる色もなく直に應急手當を行ひ益々志氣を振起し愈々猛烈な射擊を敵の第一線に浴びせた、之が爲部下の志氣を鼓舞した事絕大で、さしもの堅壘に據る敵も遂に其の企圖を挫折し大隊の第一線に對する突擊を成功せしめた、次いで友軍の敵第一線を占領するや部下の過半傷づきて僅かに四名なる分隊を指揮し、萬難を排して城壁上に登り更に後方に對する有效なる射擊を行ひ敵を退却のやむなきに至らしめた、身は既に傷けども更に意とする事なく、己を忘れて大義に就き全般の志氣を鼓舞して戰捷の基を開きたる軍曹の活動は、實に忠勇報國の赤誠を遺憾なく發揮したもので軍人の龜鑑と稱するに足る

共產黨事件 百四十二名起訴

判事や知名の氏多く 思想上の劃期的事件

【東京十八日發國通】本日午後五時記事解禁の日本共產黨は田中正元等更生共產黨の後潰滅したと觀られてゐたが、血盟團事件滿洲事變等の非常時に直面するや世界戰爭近しとの前提の下に地下潛伏共產黨員は十一月初旬黨大會に代るべき全國代表會議を熱海に開催せんとし居るを探知し十月卅日より全國一齊に檢擧し十二府縣千五百名を檢擧して百四十二名を起訴したが犯人中には東京地方裁判所判事尾崎陞等知名の士多く我思想上の劃期的事件である

檢擧された知名の士

【東京十八日發國通】檢擧された主なる知名の士は河上肇、大塚金之助、尾崎陞、東京地方裁判所司法官試補阪本忠助、文士藤森成吉、貴志山治、日大敎授杉原俊一、元九大敎授風間八十二、同令息其他無慮である

中央幹部

【東京十八日發國通】今回の共產黨事件で檢擧された日本共產黨幹部は次の如くである

共產黨中央部中央委員長　風間丈吉（三二）
同組織部長　紺野與次郎（二三）（山形高等學校中途退學）
同機關新聞部長　岩田義道（三五）（京都帝大中途退學死亡）
同資金局長　久喜勝一（二五）（富豪の子弟）
同資金部長　今泉善一（二二）
同軍事部長　長谷川茂（二七）（京都帝大中途退學）
共產青年同盟農民部長　宮川虎雄（二五）（早大中途退學）
婦人部長　兒玉靜（二七）

解氷後と雖も洪水の虞なし

―呂ハ市長語る―

一昨日來京のハルビン市長呂榮寰氏は本日午前十時半執政府に於て執政に謁見、水災後に於けるハルビンの情況並に市政籌備處の現狀について種々報告する處あつたが退出後ヤマトホテルに於て語る

今度の來京は市長會議參加の爲めではなく水災後のハルビンの狀況に就て執政が非常に心配されて居られるので實狀を詳しく申上げるべくやつて來た譯だ水災後の救濟施設を非常によく行つて居り且つ解氷期に更に洪水の虞れないかとのお尋ねにも、充分これに對する準備が出來て居り決して其虞れない旨答へました處安心された御樣子だつた、尙市政籌備處の現狀に就ても種々說明申上げた、市長會議には代表を出して居る、自分は當二四日滯京の上歸哈の心算である

傷病兵送還

新京、公主嶺、鐵嶺、奉天、遼陽の各衛戍病院に收容加療中の第○○師團の傷病兵中三十八名は十四名の附添兵に護られ本十九日午後零時三十分新京發第十八列車で大連經由內地に歸還することゝなつた、新京衛戍病院よりは高岡曹長以下十二名、公主嶺三名、鐵嶺四名、奉天十七名、遼陽二名である

呼倫貝爾事件に因む歌 山崎領事作

十七日來京した滿洲里事件のヒーロー山崎領事の手になる左の呼倫貝爾事件に因む歌は拘禁中活皇軍到着を切實に表はし同氏得意の作である

一、天下和せず不正の跋扈
塞北千里に反旗翻つ
呼倫ど貝爾の水境
映る姿に皇師起つ
歡喜　踴躍　踴躍

二、西に平和使節に劍
二十八度に零度を降る
剛勇果敢の突進に
叛匪蘇張敢亂す
歡喜　踴躍　踴躍

三、我等御國の民草は
敵の暴威に能く耐て
隱忍待ちし効ありて
救護の神や出現す
歡喜　踴躍　踴躍

四、王道政治の滿洲の國
平和樂土の光明に
幾郎の氏も手を翳す
イザ榮へよや蒙古族
歡喜　踴躍　踴躍

山崎領事が放送 十九日午後八時卅一分

歸朝の途當地に立寄つた前滿洲里領事山崎誠一郎氏は本十九日午後八時卅一分より「滿洲里遭難に就て」と題し新京放送局から日本に向つて中繼放送する

曙の小歌（花街）

曙のスチームローラー姐さん十八日の晚、あるお座敷で、あゝあたし新京なんか厭になつちやつた、ハイラルか滿洲里か、いつそ國境を越へて、ソビエートとかスベツタとか云ふ國へでも行かうかしらと述懷してゐるのが、本社編輯局無電の受信機に記錄されました、さては彼氏があの方面へ行つて行衛不明にでもなつてゐるのかと思つたら、さうでもない

×

あの方面へ行つたら藝者なんかは居まいから大に威張れると新京ぢや、若い美しいのが後から／＼と殖へるので、あたしなんかのがきかなくなつちやつて憤慨にたへぬからなのよとのたまうのです

然しさう絕望するにはあたらないと思ふ、なぜかと云ふに解氷と共にいよ／＼國都の建設が始まる、それには第一に小歌姐さんを必要とする、無くてはならぬものゝ一つに數へられるのは、スチームローラーであります、おわかりですかな？

ラジオ

二十日（金）
奉天後五、〇〇　奉天レコード
錢行　金銀相場商業通信社
新京後五、二〇　演藝
新京後五、四〇　講演　遼寧通信社特派員　唐光路
東京後六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　時事解說
（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇　ニュース（英語）
新京後七、四五　ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇　ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇　時報
東京後八、三一　ニュース　東京中央放送局編輯

次の水曜會 八千代館

毎週ヤマトホテルで催される水曜會、來る二十五日には會場を八千代館に變更午後六時から大々的賑かに開催されることゝなつた

映画だより

十八日を初日に長春座に開演した日の出會と富士映レビューの合同大一座、萬歲のうちでも金之助、銀丸の藝事の爭ひから金之助が講道館の三段と威張ると銀丸はアメリカ歸りの拳鬪家だとやりかへす、結局金之助が柔道着、銀丸は隆々たる腕にクローブを嵌めて現はれ、柔道と拳鬪の勝負なんかは珍らしくて大受け鮮かな富田一貫齋とか云ふ人の弓術と居合術、小山慶司の野球萬歲ユニホーム姿での野球節など大喝采を博した、この興行は二十日夜までゝある

天氣豫報

十九日の氣温最高零下十五度二、最低同二十五度六、二十日の天氣は西の風晴れ

鮮魚小賣相場

活鯛　一〇〇　チヌ鯛　五五
アマ鯛　四〇四五　マグロ　一八〇一九〇
ブリ切　四〇　サバ　一一一二
アジ　三二二一　ボラ　三四
キス　六五二五　ムツ　三二
シジミ　一三　チクワ　一〇

牛ベン　二六　新上　七二
サヨリ　八〇　タコ　二八
甲イカ　五五　伊勢海老　二〇〇
車エビ　八五　カニ小　三〇
アナゴ　二六　ナマコ　三〇
アワビ　九五　カキ　三〇
カマボコ　一〇〇　ホタテ貝　二六

淒艷紅涙刄（一八三）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

「貴殿がさうの御考へなら藩論は忽ち勤王に趣くでムらう。さもなくば奥羽同盟は、決して成りませぬぞ。この一事は、かたく御留意を願ひたい！――佐渡どのお呼び立て至してのこ長談義、さぞ迷惑でムつたらう。これでお別れ。――さ、お引取り下されい」

「むう。――死を以てて御忠言膽に銘じて忘却仕らぬ、では女鹿氏お心安う御生害召されい」

さすがは、古武士氣質の佐渡沈痛に別れを告げ、立去つた。

鐵之助は、この足音が消えるまで、ぢいつと首をかしげて思案にふけつて、ゐたがやがてにつこり笑つて、四戸次郎をさし招いた。

「次郎、その方にも、何かと世話に相成つたな、厚く禮を云ふぞ。」

「さ、さんでもないこと、一向お役に立ちませず、殘念に存じます。だが、佐渡どのも、唯今の御言葉には、つく〴〵感じ入つた樣子、それがせめてもの――」

「いや、佐渡の氣持は、まだはつきり、きまつてをらぬよ。然し、かたくなな考へを此の際强く動かしたばかりでも俺は本望だ、むざ〳〵病み疲れて、死ぬよりはましであつたらう。」

「なんの、天下の人心を、感奮せしむる壯烈な御最期と、存じます。」

「ふゝゝ……。」次郎は、さう思つてくれるか、嬉しいぞ。――これなる手紙みな國許の親戚故舊へ、俺の氣持を僞らず書き記した遺書だ、そなたから手渡してくれ、よろしく頼むぞ！」

云ひ終つて、次郎の無言でうなづくのを見た女鹿鐵之助やをら、前なる行燈を、ぐつと手許に引き寄せた、

ほ、ほッ

――ひさしきり、はためく青白い焰！

それを、見すゑる鐵之助の瞳は烈々たる氣魄をこめて、火と燃えた、

「あッ！」

次郎は、思はず、後に退つた

見よ！鐵之助は、一えぐり、脇腹をかききこんく流るゝ鮮血を掬つて、行燈のおもてに、血に躍る四ツの大字を書き記したではないか！

「一死報國。」

「おゝ！一死報國！」

次郎は、唇もふるはせて、叫んだ。

「うむ。――これが、俺の魂ぢや。俺は、まだ、氣力は衰へてゐないぞ この身體、――この胸さへ、むしばまれてゐないなら、同志と共に、まだ〳〵奮闘が出來やうものを――殘念ぢや、口惜しい――次郎、俺の此の氣持を、格堂さまにしかと、お傳へしてくれ、雄馬によく告げてくれ！そなたにも、節を曲げずに、同志のために、働いてくれ！たのむぞッ！」

「は、はい――次郎、四戸一身賭して、御依頼を全う致します、さ、安らかに御生害を――」

涙に泣きぬれた顏をさしつけて次郎は力强く誓つた。

「おゝよく申してくれた。」

最後の微笑を、たゝへた鐵之助再び、短刀の柄を握りしめるや否や、ぐうッと、腹一文字に掻き切り返す刄で一氣に氣管を吹き切らうとしたが、何事ぞ、月山の名作、首の骨にあたつてその切尖はもろくも、二分ばかり缺け落ちた

がつくり、前にのめつた鐵之助早くも、左手を突いて、伞身をささへ、すがりつく次郎を倒しながら、苦しい聲をふりしぼつて、最後の訓戒。

食物が支配する學齡兒童の强弱

風邪ひき易い結核素質の虛弱兒もかうすれば丈夫な體質になります

吾々は日常無意識の内に、身體の内外各部を活動させてゐるのですが、之らの働きは決して無償で行はれてゐるのではありません。

即ち吾々の體内には或る原動力があつて、これが變化する事によつて活動が起るのです。この原動力をエネルギーと呼びます。

然し此のエネルギーは、一生涯活動するに足りるほど澤山保有されてゐる譯ではないのですから、消耗するに從つて補充して行かねばなりません。吾々が毎日食物を攝るのは其必要からであります。

けれども、食物がエネルギーとして役立つには、其の中に、エネルギーの給源となる

各種の榮養成分が

含まれてゐなければなりません。その各種の榮養成分とは、脂肪、含水炭素、蛋白質、鹽類、ヴイタミンの五大榮養成分であります。

この榮養成分の内どの一種が缺けても、吾々は最早完全なる健康體ではあり得ないのです。

故に食物は偏らない樣に、色んな物を食べて、此の五大榮養成分を萬遍なく攝らねばなりませんが、殊に現在旺盛なる發育を營みつゝある學齡兒童にあつては、その發育成長を助ける特殊な榮養素の攝取を怠つてはなりません。

さうして、リヂン、チスチン、ヒスチヂン、各種ヴイタミン等にその作用が最も著しいとされて居ります。而もこれらの榮養素が不充分だと、著しく發育が阻害されるのみならず、延いて抵抗力の弱い虛弱體質となつて來ます。

それは在學兒童の六割に達すると云はれる虛弱兒童の大半が、之らの榮養素の不足に基因してゐるといふ事實に徵しても明かです。

呼吸器型虛弱兒と

身體が瘦せ、首が長くて風邪をひき易く、肺炎等の致命症にも罹り易いといふ樣な兒童が之で、一名も呼ばれ、長じて結核に犯されるのも多くは此の體質であります。

この他榮養の不良が虫齒の原因や蛔虫の寄生となつて、可憐な兒童の健康を脅かしますが、更に智育上にも大害があつて、當事者の實驗によると、榮養不良の結果はその兒童の學業成績までが低下すると云はれます。

だから斯うした兒童を病氣から救ひ、進んで健康兒としての立派な發育を遂げさせる爲には、何よりも榮養を佳くして體質の强壯化を圖らねばなりませんが、玆に注意すべきは、榮養の補給に過信しない事で

彼のヴイタミン類が兒童の保健上如何に重要な物だと云つても、それがA若くはDといふ樣に單一であつては、到底榮養の完全は期せられないのみか、その濫用は

缺乏の場合と同樣

身體に障碍を招く事が、實驗上證明されてゐるのでも分りませう。

と言つて、必要な榮養素を一つ〳〵取合せて與へるとなると、其手數が容易ではありませんが、幸ひ近頃ではヘーフエといふ一種の黴菌を食べさせる事に依つて、この問題を手輕に解決できる事が、營養學上闡明せられました。

即ちヘーフエに含まれた榮養素は、基本的五大榮養成分の全てに亘り、特に兒童の發育素たる各種ヴイタミン、リヂン、ヒスチヂン、チスチン等は最も豐富であります。

而も好都合な事には、人體内で分泌されると同樣な、多種の酵素が含まれてゐて、攝取した食物の消化吸收をよくし、胃腸や全身細胞の機能を昂め、抵抗力を增强する等の著しい効果もあるので、虛弱兒童の榮養促進――體質改造上更に拍車をかけるものと云へます。

此優れたヘーフエ菌蝋は澤村博士の『錠劑わかもと』であります。

胃腸の吸收を無視しては榮養食も無駄

胃腸を丈夫にする榮養の攝取法

人體の健康上大切な榮養の給源が食物である事は、既に御承知の處でありませう。然し食物を澤山に攝取しさへすれば直ちに榮養の增進が得られると思ふのは大變な誤りです。

何故かと云ふと、一切の食物は人體の消化作用が圓滑に行はれてこそ、始めて榮養として吸收されるもので、胃腸の弱い人や

虛弱兒

では、如何に榮養分に富む食物を攝取した處で、大部分が素通りして榮養として吸收されない許りか、過重な負擔は尚更胃腸を弱らせて、全身の衰弱を助長する事にもなります。

で、この場合最も注意を要するのは、その食物に優れた榮養素が含まれてゐる事も勿論大切ですが、それ以上重要なのは、如何して胃腸にそれを吸收する働きを與へるかといふ點にあるのです。

胃腸にこの働きをさせる――つまり胃腸の油とでもいふものは、酵素といつて

醫學で

今日の進んだ醫學でもまだ、秤にかけてその量を知ることが出來ない靈妙な物質で、この酵素の力が衰へれば、食物の消化吸收は素より、先づ胃腸始め内臓諸器官の組織細胞其物が衰へて色々な病氣に罹ります。「いくら榮養食を與へても丈夫にならぬ」とは、虛弱兒をもつ親達の悲痛な叫びですが、之は實に酵素の働きを度外視して、榮養素にのみ頼りすぎるからです。榮養增進上の二大要素とは、榮養素と酵素ともいふべきもので、何方が缺けても人體の健全は望めません。處がこの

人體に

缺く事の出來ない多種の酵素と榮養素が、ヘーフエには實に都合よく含まれて居ります。

そこで此ヘーフエの全成分を活性のまゝ内服藥に製り上げて、新しい榮養促進法のトツプを切つたのは、我國では東京帝大名譽教授、澤村眞博士で『錠劑わかもと』がその藥であります。

だから之を、虛弱な兒童に服用させると、その成分中の酵素の働きによつて、腸胃はじめ内臓の組織細胞が甦生して、著しく消化作用が活潑になりますから、從つて、榮養も充分に吸收されて、丸々肥り出す譯であります。

東京市

一例を舉げてみましても、現に北蒲小學校では昨年夏季休暇中、虛弱兒童に之を服用させた處、時恰も酷暑で、一般に體重の減少を來す時季にも拘らず、之をのんだ兒童で體重の增加を示さゞるは一名もなく、併も『錠劑わかもと』は非常にのみ易いので皆喜んで服用したと校長先生が報告されてゐる位であります。

この優れた『錠劑わかもと』は大人二十五日分一圓六十錢（小兒には約八十日分）、八十三日分五圓といふ廉價で、東京市芝公園大門内、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から頒布されてゐます。

希望者は右へ藥價だけ送れば、送費は會で負擔して急送されます。

子供の虫氣

俗に虫氣といふのは、種々樣々で、大人のヒステリーの樣に、少しの事にキイ〳〵泣いて機嫌がわるく、又は急に高熱を出すとか、無闇に物を食べたがるにも拘らず、腹ばかりが膨れて來るなど、總じてかういふ容態を虫氣といつて、昔はいろ〳〵虫下し類を用ひましたが、今日では『錠劑わかもと』を用ひます。

原因は蛔虫でなく、消化不良から來てゐることが多いので、『錠劑わかもと』によつて食物がよく消化され、胃腸が丈夫になつて、便通も整へられ、腸内異常醱酵が制せられて、榮養がよくなりますので、自然虫氣も起らなくなる譯です。

生來弱かつた私も 斯うして丈夫になつた

村田貞江（十三歲）

お母さんがいつも、お前程手のかゝつた子供もないが、又お前程丈夫になつた子も珍しいとおつしやいます。

何でも私は小さい時、膝えんはやる、淋巴せんにかゝる眼もわづらふ、へんとうせんは肥大せるといふしまつで、それは弱かつたさうです。

學校へあがつてから、少し丈夫になつたが、それでもよくかぜをひいて、喉がいたい、のどがくるしいとこまらせたさうです。

◇…二年生の時東京の叔母さんが『錠劑わかもと』を送つて下さつて、これはよい藥だから、大事にのみなさい、きつと丈夫になれるからといふ手紙までそへてありました。『錠劑わかもと』は大そうのみよいので、それから毎日よろこんでいたゞくうちに、今までよりも、ずつとおなかゞすくやうになりました。卵だの、とうふだの

◇…見るもいやでございましたが、それがへいきでいたゞけるやうになり、甘くてもからくても、一切食べ物にすききらひがなくなりました。

そして二年生の時から、今日までは、まだ一ぺんも學校を休みません。この頃も先生が毎朝一回、きまつて大便をする習慣をつけよとおつしやいましたが、私はもうとつくの昔から、そのくせがついてゐて、おせわなしです。これも『錠劑わかもと』のお蔭だと存じます。それから

わりあひうす着でも風邪をひかぬ樣になつたこと。

走りあひにも時々優勝する事

夜の九時から朝の六時まで覺えなしにねる事。

組中で一番かるかつた目方が今は十四番目になつた事。

小便が大そう遠くなつた事。

不動のしせいが長つゞきする樣になつた事。

體操がすきになつた事。

これも『錠劑わかもと』をみつゞけてゐるせいだと思ひます。

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一ヶ月 金八十錢 郵稅 一ヶ月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話二二五番・三三〇〇番
發行人 十河葉忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

東部線一帶の日滿露親善
皇軍を救世主と仰ぐ

【ハルピン十八日發國通】皇軍の大計伐によつて東部線方面一帶は半歳に亘る匪賊の跳梁により住民の疲弊其極に達し反軍の惡宣傳に迷はれれて日本軍に對して初めは恐怖の念を抱くものが多かつたが、

『皇軍』の巧妙なる作戰と相俟つて宣撫工作が其の效を奏し至る所日滿國旗を掲げて信頼の意を表し各地に市民大會を催して匪賊の跳躍より解放されたことを感謝して居り、一月十一日穆稜に於て催ふされた市民大會の如きは零下卅度の酷寒吹雪の中に約二千の市民が日滿國旗を振り乍ら我〇〇師令部前に雲集、萬歲を三唱して日本軍の永久駐屯を請願する盛況を呈して、本地方には滿洲國人の外白系赤系の露人多く白系露人は日本軍を見る事全く救世主の如く、時恰も露曆降誕祭に當つたので今迄禁止されて居た各寺院の鐘を高らかに響かせて大喜びであり赤系露人も日本軍の來征により匪賊の橫暴から免がれ、鐵道は通じ、貨物は動く狀態を見てこれ亦感謝の意を表して居る。穆稜驛長の如きは日本軍の來征により今迄一厘も無かつた收入が、毎日二千數百圓に達するさて大いに欣び、市民大會には東鐵從業員の組織せるオーケストラを自發的に

『參加』せしむる等好意を表して居る綏芬河のソヴイエツト領事は日本軍の代表者を招き歡待する外露人に布告を發して日本軍との間に誤解の無い樣注意を要すると共に日本軍部の招宴には廿數名の要人全部が出席して日滿露三國の親善振りを遺憾なく發揮してゐる

尙南部筋は賣つて居たか國内及び外國紡績筋の値締め註文あつてこれを吸收し市場の正調あまりなし取引は主として支人筋に限られてゐた

發送特產

	品目	數量
新京	大豆	三〇〇輛
	高粱	六〇
	豆粕	九一
	雜穀	一九三
	木材	一八
	其他	二〇八
	合計	六〇〇
中東聯絡	大豆	二〇七〇
	豆粕	六一六
	木材	四一
	其他	九
	合計	二七三六
吉長聯絡	大豆	三三三〇
	豆粕	六一
	雜穀	一五四
	木材	二四八
	其他	六四
	合計	三八五七
	總合計	七一九三

城内電燈廠で新發屯に變電所
解氷期を待ち大活動

新京電燈廠は昨年七月以來特別市政公署が引受け市内の電燈普及に努めてゐるが、昨年末調查によると總燈數二萬九千三百七十四燈、動力三十八台、需要戶數五百八十六戶、城内總戶數に對し約二十五パーセントである、同廠が滿電から買受けた電力は百四十九萬四千八百九十キロ、總收入高十九萬九千八百圓である、なほ盜電發見數は二百三十七件で、驚くべき好績成を示した、同廠では今春の解氷期を待つて、續々新規工事に着手するが先づ第一に新發屯附近に變電所を設置し、續いては電線の改修工事に移ることになつた

預金部所有公債は一億三千五百万圓賣却

【東京十九日發國通】預金部運用委員會は昨日午後二時から藏相官邸に開催され預金部所有公債の中一億三千五百萬圓を必要に應じ日本銀行に賣却する事並に長期融通三千四百三十萬圓、短期融通五千萬圓など原案通りそれぞれ可決す

血に飢ゑたる平和愛好者よ
汝の名はスチムソンドクトリンなり
滿洲國外交部憤慨

【國通】米國國務卿スチムソン氏が再び滿洲國不承認を聲示するが如き所謂スチムソンドクトリンの再確認を在外駐剳大使に傳達したる事實に關し滿洲國外交部に於ては右は血に飢えたる平和愛好者の東洋に對する認識なりと問題視してゐない

所謂スチムソン、ドクトリンなるものが、東洋の事態に對してどの程度の權威を維持するものであるかの點については、たゞ甚だ幼稚にして、無力なる世界の平和建設に對する無責任なるものであると斷ぜられて居る、武力の上に構成されたる事態なるものが果して眞の滿洲國建設の事態と合致するや否や此點に關し滿洲國は其對外通牒に於て聲明したる如今スチムソン、ドクトリンを否定せざるを得ない滿洲國の無限に進展しつゝあるを現實の事實に對し列國は事實の點に於て無視する事は出來ない、事實は事實である、從つて米國が聯盟の再開を機に再び斯る言動をなした事は聯盟に對する強引政策であり却つて東洋問題に關し聯盟を混亂に導くものだと見られてゐる、滿洲國は今更斯る政策によつて其建國の礎を左右されるる事はなく國家として旣成事實はあまりに進展してゐる

後任東京市長
望月氏有力

【東京十九日發國通】永田市長辭任に伴ふ後任市長は現在の市會に於て選擧するか或は來る三月十六日後總選擧を新市會に於て選擧する事さなるか目下の處不明なるが下馬評に上つて居るのは望月圭介、水野錬太郎、藤沼庄平、宮田光雄の諸氏である

米綿市況

【東京十八日發國通】終日冷靜を保つてゐたが引け前に至り買氣薄く反撥本日はまばらながら三月ものに賣物があつた

新京の綿布工場活況

新京に於ける日滿人經營の綿布工場は昨年以來大いに活況を呈し、水災地方騷亂等相次いで起りたるに拘はらず一昨年に比し八十余萬圓の增收を示して居る、之が主なる原因は地方經濟の安定、銀高等に依る滿人側の需要增加であるが各種別に數字を擧ければ次の通りである

（昭和七年度賣行高）

種別	反數	金額
大布	六〇萬反	一五六萬圓
粗布	六萬反	四五萬圓
其他	五千反	三三萬五千圓
計	六六萬五千反	二〇四萬五千圓

昭和六年度より反數に於て十五萬五百反、金額に於て七十九萬八千五百圓の增加さなつて居る尙新京に於ける工場數は三〇〇戶で職工十五名以上の工場一二〇戶十名以下四戶織機總數一、三三五()台で將來の發展が期待されて居る

旅客案内事務打合會議
新京事務所案

【新京十九日國通】既報二月十五、十六日の兩日開催されることになつてゐる滿鐵旅客案内事務打合會議に對する新京鐵道事務所の腹案を目下研究作成中であるが大體左の如きものである

一、在新京旅館の現勢に就て
イ、現在部屋數收容力
ロ、旅行シーズンに於ける部屋數收容力
ハ、現在下宿舍の內譯
ニ、官舍及び市營住宅の出現により上記下宿泊者の解消し得る見込數及時期

二、在新京旅館が觀察團體收容力不能となつた場合列車ホテルの擴充可能範圍

三、滿電バス現在數及び馬車が團體の貸切りに應じ得る輛數並に本年擴充計畫の有無及び車輛

右に關し鐵道事務所は旅館並に下宿屋別に着々調査を進め又旅館營業者に對する鐵道事務所よりの希望事項並に團體宿泊に對する旅館側よりの條件乃至團體側に對する希望條件等について打合せをすることになつて居り、多分この二十一日頃參集協議する筈であるが同部新京に於ける旅客案內の今後については萬遺憾なきを期すべく鐵道事務所では

變幻黑船往來

禁轉載上映及上演
（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第五回　三つの疑問（五）

これから……幾刻か經つた。

不忍の池の端で、青剃り藤太が麻醉からやんわりと醒めて、鎌首をもたげ、憑かれた者のやうに周圍を見廻したときは、もう朝の光りが、池の面にさんらんと輝き漲つてゐるのだつた。

――ほい、失策つた！

藤太は、靑樓の一室で、つひ不覺にも寢過ごしたときのやうに、あはてゝ起き上つたが、まだ腰が定まらず、よろ〳〵と大地にしりもちついた。

――畜生！やつぱりあいつァ、物の怪だつた。

あらためていま、ぶる〳〵と身ぶるひしたが、すぐにまた藤太のよどんだ瞳が、よどんだなりに輝いた。

――それにしても、物の怪の正體、たしかに見とどけたのア、て、天下ひろしといへども、こ、このおれひとりだい！

ひとつの勇躍が身內に起つた。藤太はその物の怪の美しい幻影を追ふやうに、獵奇趣味の宿醉ひを振拂つて起ち上つた。

と、彼の肩先がまた何ものかにぐいと押へられた。

『わッ！』

低いが破れるやうな叫喚！――いまのいま、幻影を描いてゐたかの物の怪が、まだそのあたりに潛んでゐたのかと氣がつくと、急に怖毛が立ち、足がすくんだ。

『こりや』

物の怪は、いつのまにか男の聲だつた。

『へえ』

『そちは、さいぜんよりこゝに野宿してをつたのう』

『は、はい』

『吉原か、根津か、女にふられて不貞寢か』

『……』

藤太は、おもはず振返つた。

そこには、あのすごい、美しい妖女とは似ても似つかぬ立派な侍――それこそ根津か吉原の朝歸りらしい、ぐつとくだけた粋な身扮りだが……深編笠に面體を隱し、二枚かさねの草履のうへにのせてゐる、その姿は重々しかつた。

『さいぜんより眺めてをつたが、不貞寢とあつては、よい度胸ぢやのう』

侍は薄笑ひを洩らした。

『ど、どういたしまして……』

いきほひ、藤太はそれを打消さねばならない。

『では、酒に喰らひ醉つてその態か』

『それどころか、ひでい目に遭ひましたよ。れいのほら、井戸ばたの物の怪のために……』

『なに？』

深編笠が微動した。

『いきなり背後からだきつかれ、と痺藥をかがされ……』

『ま、待て！その物の怪の正體、そちはたしかに見とどけたのか』

『へ、へえ、その物の怪といふ奴ア、やつぱり女ですぜ。しかも、あれ吉原にだつて根津にだつて、あれほどの女アゐやしねえ……この二つの眼で、たしかに見とどけました』

藤太に、そこでやつと優越感のヘケロをみつけ出し、へんに力みかへつて、昨夜からのあらましを手短に語つた。

『うむ……して、そちは、何用あつて深夜この邊を徘徊するのぢや』

『へえ、つまりその、物の怪の正體をみとどけるために……』

『そちは、なんといふ？』

最がけに、鋭く吟味する侍の態度に、はじめて氣がついた藤太、急にまたしり込みをする。

滿洲國否定反對宣言を議事錄に留む
聯盟の策應する讓歩條件　委員會の一人語る

〔ジユネーヴ十九日發國通〕十九箇國委員會の一メンバーから確聞する處に依れば十九箇國委員會は米露招請以外は十二月十五日の決議原案の趣旨をその儘日本に容認せしめるかはりに交換條件として理由説明書末尾の滿洲國の現狀に關する否定的な文句に對し日本側から總會席上で反對宣言を日本が滿足さする如き如何なる形式に於いてなりとも述べる自由を認めこれを議事錄に止め、あだかも一昨年十月のパリーに於ける理事會で芳澤代表がなした匪賊討伐の件に關する宣言と同樣の形式を以て片附けんとする提議を含むものである

非聯盟國招請削除は聯盟の逆手だ

〔ジユネーヴ十八日發國通〕本日の十九ケ國委員會は非聯盟國招請問題を削除した外の決議案を日本に同意せしむ。ここに意見の一致を見たが委員會議は右決定を爲すに至つたのは非聯盟國招請に對する日本の反對が餘りに強硬なるに鑑み、十九ケ國委員會としては日本の主張に逆手を打ち日本の聯盟規約論を尊重した形を以て支那が承認することを條件に非聯盟國招請提議を撤回することを承認し、其の代り他の部分に於ては全部十九ケ國委員會の現決議案を日本が受諾すべきことを日本に迫る態度を執つたものである、即ちこの結果杉村、ドラモンド妥協正案なるものは全く消し飛んでしまつた

米露招請取止め　殆ど確定す

〔ジユネーヴ十八日發國通〕本日の十九ケ國委員會は午後三時より前例により討議を行つた結果米露招請を取止めとするに殆んど確定の模樣である、即ち全會議を通じて米露の名は一度も出ず、常に非聯盟國の名をもつて呼ばれてゐたがイーマンス議長、ドラモンド總長は遂に米露招請の件削除を提言するところあり若干國より、之に贊成の意見があつた、米露招請中止に關し英國側は何等意思表示をなさなかつたが多數國の意見は、例へ米國招請を決しても兩國は招請に應諾せざるべしと覺り、一部では寧ろ調停者に於てその責が日本にある事を明かにして置くならば、米露招請中止も亦可なりとの意見を持して居る

故宮博物館寶物　學良が天津へ運ぶ

〔天津十九日發國通〕山海關事件後學良は貴重品を目立たぬやうにボツボツ天津に移してゐたが更に十六日午後七時半着の列車で學良夫人于鳳至は秘書、副官、護衛兵と共に鐵製トランク七個の外多數の荷物を携へ佛租界三十二號路の別邸に入つた、右七個の大型鐵製トランクはチヤーターード、バンク支店から讓り受けたもので、學良夫人の荷物と見せかけ實は故宮博物館の寶物持出しのトリツクだと支那通では傳へてゐる

塘沽一帶の海陸戰備に汲々

〔天津十九日發國通〕最近塘沽には支那軍艦鎭海、楚玉、定海、江利（何れも砲艦）同安（水雷）數隻來航し水兵達は一旦事あれば海口を封鎖すると豪語し同時に支那軍は迫擊砲、機關銃等を据え付けて鐵條網等により陣地構築を完成す、午後九時以後は戒嚴令布かれ山海關事件突發當時よりも却つて人心動搖してゐる

『日本人に接すな』上海各團体が段祺瑞、吳佩孚に通電

〔北平十九日發國通〕上海地方團体數化公袋所聯合會等は連名で十八日附吳佩孚並に段祺瑞氏に宛て次の如き電報を寄せて來た

「日本人が北平、天津に於て卿等の名を籍り卿等の舊部下軍隊と結び策動して居る旨しきりに傳へらる、願くば速かに卿等の態度を宣言し且つ舊部下とも約して日本に接近或は利用さるゝ等のこと勿れ」

日滿經濟統制は速急に行かぬ　陸軍省池田少佐談

陸軍省軍務局池田少佐は過日來滿洲各地を視察中であつたが本日新京記者倶樂部に於て日滿ブロツク經濟策を中心に比較的自由な討論を試みたが内地各方面の實業家との會見に依りの一致を見たと稱せられる少佐の私見（日滿經濟の統制中外財界、昭和七年十一月號）は

×

滿洲をして搾取なき樂土たらしむるの着想に基き、滿蒙に高度の統制經濟を取らんとするの考察は觀念的に一應首肯し得るが如きも滿蒙の產業が今尙ほ原始產業に近き狀態に於て直ちに統制經濟を取らんとするは一のユートピヤに過ぎず吾等は露國の採りたる經濟政策が數度の後戾りを行つた事實を顧る時釋然たるものがある

×

若し夫れ強いて高度の統制經濟を取らんか恐らくは日本乃至は外國の投資は斷念せねばなるまい、資本無くして滿蒙の開發を行はんとするは、正に木によつて魚を求むるの類で勵民は唯塗炭の苦を受可く若し強いて日本の投資を得んとせば日本も亦滿蒙の統制經濟機構に變革し滿蒙と同一機構、改めねばならぬ我國今日の資本主義を根底に於て否定し高度の統制經濟を取らんとするは現實に即せざる架空の議論であつて無暴のそしりを免れない嘗つて軍部は滿蒙に於て資本主義を認めずと宣傳せられたことがあるがこれは何かの誤解である

×

根定は自由主義となし重要產業のみ統制する純然なる資本主義とする時は社會問題等徒に禍根を將來に殘すのみである急激な日滿完全ブロツク論及び現狀維持一點張りの日本工業化滿洲原料論を排して最も現實的な實際的な内地獨占資本の統制政策の方向への國家的統制の努力を力說するものである、其の前途は又決して速急の效果を期待し得るものでなく可成り長期にわたる忍耐強き經濟的努力を必然に要すべきものである、從て現時の資金誘致難も單に資本家とか、軍部とかの責任呼はりの問題ではなく長期資本の運用そのものゝ問題であつて現下の疲弊した日本に於ては不可能である之れが方法としては滿蒙開發會社を起し政府で持株の半分位を持ち多少の犧牲は覺悟の上で最初より利益の配當をする事が必要である

×

以上の意見は池田少佐の私見ではあるが軍部當局も恐らく同感であらうと思はれる次に移民問題は日滿統制經濟の人的不可缺要素である、佳木斯移民の今日の事態を目して彼此批評する向もあるが種播も終らないのになるもならぬもないではないか

×

元來文化の高い土地より低い土地への移民の實例は歷史上未だ一度もない難事業、ただ難易如何に拘らず吾國民として英國が印度に於て爲した失敗を繰り返へすまいとすれば、農業移民と工業移民は國家的事業として絕對的に斷行しなければならない云々

少佐は更にハルピン映畫館に於けるアメリカもの進出を慨しながら滿洲を日本及び世界に宣傳すると同時に日本を滿洲民族に紹介する事も亦兩國民族の親善關係に取つては緊切であると語つた

大興川方面に正体不明の匪賊現る

〔奉天十九日發國通〕數日前より敦化西南方約卅支里大興川方壁に正体不明の數百の匪賊現はれ附近を掠奪して居る右匪團は反滿抗日の色彩を多分に有し、大刀會匪、紅槍會匪に類似して居る

軍艦平戶秦皇島に向ふ

〔大津十八日發國通〕軍艦平戶は本日旅順發秦皇島に向つた

第六十四議會けふから本舞台へ
政民の兩黨煮えきらぬ態度　國同ひとり堂々！

〔東京十九日發國通〕齋藤内閣が本格的に非常時に處する抱負經綸を示す第六十四議會の返り初日は、愈々明日を以てその幕を切つて落されんとして居る

「政局」のうづまきと流れ極めて復雜混沌を示し靜穩なるが如くして必ずしも然らず動もすれば陰慘の感をすら抱かしむるものがある、即ち政友會は齋藤内閣に快しとせざるもののありながら徹底的に之を彈劾するの鍵をとり得ず、唯近き將來に於て政權を授受せんとする方策の一として其の絕對多數を利用して齋藤内閣に軍壓を加へんとするに過ぎず恰も靴を隔して痒きを搔くの感に堪へない、民政黨に至つては最初は純然たる與黨を以て任じて居た感あるも之を以てしては民心に信をつなぐ所以にあらずとし從來の態度に變更を加へ、質すべきは質し責むべきは責め以て是々非々主義の嚴正を示さんとして居るが而も之亦政友會と同じく元來か與黨主義を以て立つて居る事とて到底思ひ切つた質問を爲す事は「困難」であらう、即ち政友會は攻擊を徹底せしめんとして能はず、民政黨は現内閣支持に努めんとして而も世を憚りカムフラージを以て進まんとして居る、政友、民政兩黨の態度此の如く全く相反した方向に向つて進む事を本意としながら其の本意を徹底せしめかぬる復雜なる流れを示して居るのが今春議會返り初日に直面して居る政局の實情である、此の不徹底なる兩政黨の態度か齋藤内閣をどうして了ふだらうか、何か彼をそうさせたかの市井の流行語は官僚と民政兩黨を以て組織された齋藤内閣といふ混血兒の上に擬せられやうとして居る、唯此の復雜なる政局の中にあつて駄々ツ兒の樣にはねまはらうとして居るのは國民同盟の一派である、多少にても新らしい旗幟を掲げて進まうとして居る處に爽快味がないでもないが、唯それは「大向」に若干の拍手を買ふに過ぎまい、但し二十一日の返り初日に於て試みらるべき齋藤首相の施政方針演說と內田外相の外交方針演說には、非常時日本に對する政府の決心と、外國際聯盟に對する帝國の覺悟が表示せられてあるべく此點識の內外に多大の注目を惹いて居る

三相施政演說　參内内奏

〔東京十九日發國通〕休會明け議會劈頭に行はれる齋藤總理、高橋藏相、內田外相の三演說は本日閣議で各閣僚の承認を經て二十日齋藤總理以下三閣僚宮中へ參內內奏の筈

國同幹部會　對議會根本方針決定

〔東京十九日發國通〕國民同盟では十八日午後本部に幹部會を開き休會明議會に臨む重要對策に就き協議の結果大体左の如く根本方針を決定す九日に開催される大會に附議して承認を求める事を申合せた

一、國務大臣の施政方針演說に對する質問者の人選及質問事項は院內總務に一任すること

一、齋藤首相の失態問題に就ては失態の事實其のものを追窮する必要は無いが首相が之に對し政民兩總裁のみに諒解を求め貴院各派及衆議院の他の政黨を無視する如き手段に出でた事を斷然詰問せねばならぬ

一、豫算案に對しては返附論あるも之は無責任の責を招く事ともなるので之が處置は院內總務豫算委員に一任すること

三國協同委員會　設置交涉近く開始か

〔東京十九日發國通〕ソヴィエート政府は不侵略條約締結問題に關する帝國政府との間に於ける交涉經過を十七日突如發表したが、該文章中に發表された「國境」に於ける事件防止に必要なる日露滿三國の協同委員組織問題に就いては最初滿洲國側に於てその必要を感じ昨年末大橋滿洲國外交部次長が上京の際非公式に提議し我當局でも協議の結果日露不侵略條約に代るべきものとして此程度の取極めならば早速これを行つても好いとの意見に一致し之を外務當局にも通告したので外務省では不侵略問題に關する回答中に右協同委員會組織に關する限り交涉に應ずる可き用意ある旨を明示しソヴィエイト側でも不侵略條約問題を當分斷念すると共に之に代る第一階梯として國境に於ける事件發生豫防に效果あるべき日露滿三國協同委員會の設置に贊意を表したものである、近く「來任」すべき新駐日大使ユレニエフ氏の着任を俟つて多分これが交涉開始を見るものと豫測されてゐる

民政黨の議會質問者決定

北滿へ出張

參謀本部附榮轉に決定した關東軍參謀臼田少佐は來る廿二三日頃、ハルピン、チ、ハル方面に狀況視察の爲め出張するが歸京後本部に赴任する時期は約一ケ月後の豫定である

北滿各鐵道沿線特產物在貨統計　槪して減少

本日新京鐵道事務所に達せる十日現在調查の北滿各鐵道沿線に於ける特產物在貨統計は左の如きものである

線名	在貨（噸）
中東線	一〇五、二四〇
西部線	三七、八六〇
東部線	三一、八七〇
南部線	九、〇五〇
齊克線	二〇四、一七〇
呼海線	五八、二二〇
合計	三四六、四一〇

右內譯

品目	在貨
大豆	三〇二、三四〇
豆粕	六〇〇
豆油	七八〇
小麥	一八、八一〇
麥粉	一、四四〇
麩	三、一八〇
高粱	四、〇五〇
粟	二、〇二〇
玉蜀黍	三、一三〇
其他	三、七六〇

右の通りであるが出廻りは一般的に減少せるに拘はらず相場は奧地高の關係上輸出市場は非常に閑散である、從つて發送數減せる爲、大豆在貨は前旬に比し約四萬八千噸の增加を示して居る、而して運搬管區に於ては哈市相場高の關係上西部沿線よりも到着多かりしに加へ、松花江完全に凍結し馬船により呼海物の馬車搬入旺盛となり今旬中約一萬五千噸に達し在貨は前旬末に比し約二萬八千噸の增加を觀た

西部沿線は開台子の滯貨一掃され在貨約一萬噸を減じ馬車出廻り台數一日平均小萬十百五十台、滿溝二百五十台、對青山百五十乃至百六十台である、東部沿線では阿什河百三十台烏吉密河二十台、一面坡五十台、海林五十台、牡丹江二百五十乃至三百台、南部沿線は、附近物大出廻り一段落で出廻り發送共に激減し馬車出廻り一日平均双城堡二百台

人事往來

▲中富貴之氏（滿洲航空株式會社總務）十九日來京

經濟

海外市況（十八日）

品目	相場
倫敦銀塊現物	一六片八分七
先物	一六片一六、一五
紐育銀塊	二五仙八分一
孟買	五一留、四分一
米英爲替	三弗三四仙八分七
米日爲替	二〇弗七五仙
米支爲替	一六弗八分一
スチール株	三七弗二分一
上海標金寄付	六八〇弗九

大連錢鈔（十九日前場）

現物寄付 九九、[illegible]　跡 九九、七〇
先物寄付 一〇〇、一〇　跡 九九、[illegible]

阪神相場（十九日）

日米爲替一向賣 二〇弗八分五
一向買 二〇弗四分三

奉取相場（十九日前場）

寄 一〇一元〇〇　高 一〇一、〇〇
引 一〇一元[illegible]　安 一〇一、〇〇
出來高 [illegible]　現物 一〇一、八〇

京取相場

現物 大豆 一三五　出來高 一四車

城內錢鈔相場

種別	相場
鈔票對金票	九九、四〇
現大洋錢對金票	九八、二〇
鈔幣對金票	九八、一〇
大洋錢對鈔票	九八、八〇

野菜相場

新京市場小賣相場表　一月十九日調「菜果之部」（種別　値段）

白菜、サツマ芋、里芋、ツクネ芋內地、蓮根、九大根、玉葱、生姜、ウド、內地、大連、タマネギ內地
〇四 〇三 〇四 〇三 〇八 〇五 二〇 一五 一六 一四 〇六 〇四 〇八 〇九 二〇 一二 三〇 二〇 二五 一五 〇五

蓬蓮草大連物、同地物、山芋、牛蒡、白大根「大連」、赤大根、人參、ミツバ大小、ワサビ、茄子、セリ內地、內地葱
一一 〇五 〇三 一〇 〇八 〇五 〇四 〇八 〇六 〇六 〇四 〇三 〇二 二〇 〇五 五〇 七〇 〇四 一五 一〇 〇八

同地物、春菊大連、馬鈴薯、水菜同、ユリ子、天津梨、バナナ、テーブル、柿內地、トマト
〇三 〇三 〇三 〇二 〇八 五〇 二五 一五 一二 一八 一五 四〇 一五 〇五 一八

玉菜、カブラ大小、赤茄子內地、胡瓜內地、リンゴ、內地梨、ミカン、ジヤボン、ブドウ、西瓜
〇五 〇四 一〇 一五 〇二 一五 〇三 一〇 一五 二八 一二 一八 一〇 四〇 五〇 二〇 一二 二〇

滿洲經濟事情案內所を設置
新京記念館內に

今回吉野町三丁目新京記念館內に滿洲經濟事情案內所を設立する事となつた同案內所は滿洲文化協會の事業として關東軍特務部長の指示に添ふもので來滿の日本人に滿洲經濟事情を紹介し企業家等に經濟方面の案內を爲すにある詳細は次の如くである

目的　來滿の日本人に滿洲經濟事情を紹介し企業家等に經濟方面の案內を爲す

場所　新京吉野町三丁目「新京記念館」電話(暫定)新京商工會議所二九〇三番

組織　所內に調査、紹介の二係を置く

職　調査係は滿洲經濟事情の調査を擔任し紹介係は來滿の日本人に右の調査事項の紹介を擔任す

權限　所長は案內所を代表し其業務を統轄す

隸屬關係　案內所は滿洲文化協會の事業として關東軍特務部長の指示に添ふものとす

業務系統　所長の下に調査係主任、紹介係主任、事務員三人、ボーイ一人を置き別に囑託若干名を推擧し業務を遂行す

但し右人員は業務の繁閑により增減することあるべし

實行要領　正確なる滿洲經濟事情の調査、資料の蒐集、整理及之が利用を圖ること日本及滿鮮各經濟調査機關との聯絡に努むること、必要に應じパンフレツト、ポスター等を作製し普く之を頒布すること

中に於て執行された上戰友護送して奉天、大連經由神戸に上陸、神戸から北海道原隊の代表者に護られ原隊に悲しき凱旋をなす筈

東京日滿協會 新京事務局 新設

日滿共存共榮の目的で設立された東京日滿協會は、豫て計畫通り新京事務局を設置する事になりその準備に着手した同事務局長には金㙛氏が推される模樣である

大寒
一時ゆるんだ寒氣もまた盛り

かへし十九日は最低零下二十五度六を示したが二十日はいよいよ大寒に入るのでまだまだ寒くはならぬかと氣づかはれてゐる、先頃一兩日あたゝかつた時は西南の風であつたがあすは西の風となる

滿洲國の賞與 一兩日中に支給
二百圓以下の者に

滿洲國政府は建國日尙ほ淺き爲め、治安維持に豫想以上の出費を要してゐるので年末賞與の如きは支給せざる方針であるが、特例として實際治安維持に當る將兵、公安隊員及び中央諸官廳下級官吏に對しては十八日附を以つて兩三日中に歲末賞與を支給することゝなつた、即ち加俸を含み月收百圓以上二百圓以下の官吏は五十圓、百圓以下の官吏は月收の半額、傭人は日給三十日分を夫々支給される

舊正を控へて 首都警察警戒嚴重
盛り場の日附松井署長語る

舊歲末を控へ新京特別市を護る五警察署では建國最初の正月を迎へる爲め事故なく全ふすべく日夜警戒に努めてゐる城內の中樞を護る大經路警察署長松井成隆氏は舊歲末警戒に關し語る

滿洲の犯罪は舊歲末が一番多い、殺人、强盜、竊盜にしても從來の統計が示してゐる自分の管內、城內の中樞といはれてゐるだけに復雜な問題が突發しやすいから特に警戒を嚴重にしたい先づ歲末特別取締は各署とも同樣であるが、當署は第一、二期に別け第一期を去る十一日から廿日迄、第二期を二十一日から二十五日迄とし、署員を遊動隊、巡邏隊、密行隊、交通取締班に別け、遊動隊は五名組織で四班とし、午前十時から午後三時、巡邏隊數班は午後四時から同九時、密行隊は特務刑事八名で組織し、午前二時から同五時迄管內飲食店、料亭旅館等の取締にあたる、交通取締は管內十三ケ所に立番を置き交通整理に努め、警長三十一名巡官六名は警士を監督し、市民に遺憾なき取締をなしめでなり、建國最初の舊正月を迎へたい考へだ

十二月中の花街總賣上高
曙が斷然第一位
昨年一年で 百二十一萬二千余圓

天井知らずにぐんぐんと鰻上りに上つて行く花柳界の水揚高は素晴いしもので、特に十二月はサラリーマン連のボーナスのお蔭と忘年會の催でいよいよ景氣をそえ前月に比して約二萬圓の增額を見、十二月中總賣上高は十七萬五千三百八圓といふ驚くべき數字にのぼり、曙の一萬八千六百九十七圓八十錢を筆頭としてゐるこれを藝酌婦別に見れば、藝妓花代六萬六千六百二十九圓六十九錢、酌婦花代一萬六千五百五十三圓三十錢、酒肴料九萬三千百二十五圓十錢といふ統計を示し新京の好景氣を如實に物語つてゐる

なほ昨年度中の賣揚總計は實に百二十一萬二千百五十五圓六十六錢の巨額に達しこの內藝者花代四十三萬三千六百十七圓七十六錢酌婦花代十四萬四千六百六十[illegible]七錢酒肴料六十二萬四千六百九十七圓四十二錢で一昨年の四十五萬一千九百九十二圓八十五錢に比較して約三倍の激增振りである

近く陣中告別式執行
山海關の戰死者

(天津十九日發國通)山海關攻略戰に殊勳を建てた支那駐屯軍に屬する山海關守備隊の尊き犧牲者兒玉、吉田中尉以下五名の告別式は近日中に陣

日本刀世に出る
陸戰隊で使用に決定

(東京十九日發國通)海軍では上海事件に於ける實戰に鑑み陸戰隊の軍刀は指揮刀のみでは不便なので實戰の場合は昔の日本刀を使用することゝなり陸戰隊條令に挿入することゝなつた

土と科學(四)
(變り行く新京の姿に對して) 地理學的概念養成に努めよ
神山嘉平

凡そ地形の要素は多々あるが、之が經濟上に於て直接關係するものは比較的に限定されてゐるのである、斯くの如く經濟生活上に著しい關係を持つ地形を經濟地形と呼びしかも世界人口の大部は平野に住んでゐるのである、平野の生産により生活し、生產そのものは地形によつて定るのが多いのである。

されば平野の上に於て極めて重要なる役割を演ずるものと云へるのである。

しかも此の要素構成は海岸や山地、平野等に於ける至つて狹少なる凸凹狀態が經濟上に重要關係を保有してゐる事を知るのである、此處に至つて經濟地形研究の必要は又しても起る譯である。

斯くの如く科學研究が人類生活に取離す事の出來ないと共に、分科に過ぎない地理的景觀(人文自然的)研究が吾々の日常生活に適切に役立つものであるかは歷然と判明するのである。

先づ住む土地の研究を……

吾々は廣き滿洲に於てのより良き生長を遂行させる前に先づ吾々自身が住む土地の地理的動態としての素養と經濟的開拓への手段を堅實に研究する必要を痛切に感ずる以上之を研究せねばならぬのである。

首都大建設計畫骨子は發表された、新京は今正に自然に向つて大飛躍を試み樣としてゐる。街區に大移動の善化を成さんとしてゐるのである。

土の上に建てられる吾人の住居も動態としての素養を十分に保持してゐるものなれば完全なる「土」研究は吾々總てが考慮を要する問題である。恐らく科學を離れての政治は幾多の損失を蒙むりがちである吾々は國家を愛すると共に又吾々は住む「土」そのものを愛し育てる事を忘れては生活は出來ないのである。

年の改まると共に吾々は我が住む町、即ち吾々の「土」を研究する事を怠つてはならない。

首都の盛衰も一に此點にあるのである。

首都の完全なる美化と發展を祈りながら筆を擱く

(一九三三、一、四、)(完)

滿洲國軍將士 ボーナス分配率決定
總額廿五萬圓に上る

滿洲國政府が建國以來各地の討匪事業に從事せる滿洲國軍將士の爲に約二十五萬圓のボーナスを支給する事は旣報の通りであるが十八日左の如く分配する事に決定した

吉林警備隊司令部一萬五千圓
奉天警備隊司令部七萬圓
黑龍江警備隊司令部八萬七千圓
洮遼警備隊司令部四萬圓
興安省警備隊司令部七千圓
東鐵路軍總司令部七千圓
江防艦隊司令部四千七百廿九圓
執政府翊衞所二千五百圓
執政府護軍一千二百八圓
京師憲兵司令部九百圓
軍畜牧養場七百七十圓
靖安遊擊隊一萬二千圓
陸軍訓練所一萬二千圓
侍從武官廳五十六圓
軍政本部四千八百卅七圓

大辻氏の漫談會
廿四、五日頃大杉氏邸で

最近賣出した東京の漫談家大辻司郎氏は今回渡滿し滿洲各地の漫談行脚をなすべく現在大連に在るが滿洲國總務廳長秘書大杉氏は同氏の來遊を機とし來る二十四五日頃大杉氏邸に於て一夜漫談會を催し同好の士と興をともにしハルビン、チヽハル方面にも赴くと

シンガーミシン爭議論

(橫濱十八日發國通)橫濱で紛議中のシンガーミシン爭議團員五十名は午後零時山下町の會社を襲擊し窓硝子を破壞し椅子を投げつけ亂暴を演じ四十名の負傷者を出した

親睦、向上と日滿融和が主目的
申込みの締切り日迫つた
本社主催圍碁大會

本社主催の新春圍碁大會は申込期日切迫するにつれ滿洲國執政府、財政部、監察院等の滿洲國政府要人の申込み盛んであり市內側有力者の申込も刹到、

—非常— な盛會を豫想されてゐる、今回の圍碁大會は當初豫報の通り從來ありふれた賞品を目的とする此種催しの型を破り、讀者慰安と同好者の親睦、向上、併せて日滿融和の機會を作りたい趣旨の下に本社が主催したものであるから圍碁巧拙など決して遠慮の要はない、又會費は一割を賞品費に計上し、他は全部宴會費に充當し、來る日は日の半日を打寬いで圍碁を鬪み五面打切りとし、決勝戰を行はず點の優勝者があつた場合は、日數計算で優勝者を決定し、賞品の授與式を行ひ、最後に懇親宴を開いて歡談一日の淸遊を盡したい計劃である今や申込締切期日も切迫し。明二十一日正午

—締切— で剩す處僅かにあと一日となつたので、未だ申込でない同好者は此際至急申込まれたい申込電話は本社三三〇〇番である

各方面から賞品續々寄贈
金象眼の楯もある

本社主催圍碁麻雀大會は既報の如く各方面非常な好人氣を以て迎へられつゝあり本社のこの催しに贊し各方面からの賞品の寄贈も山積しつゝあるが其後の寄贈賞品として日本橋通り貴金屬商金華堂の金象眼の楯、泰利號の高級リノール蓄音機一台、阿倉時計店の文化掛時計、日本橋通和登商行の電氣アイロン等高級品の寄贈ある外左の如き寄贈賞品ある

阿倉時計店　文化掛時計一個
泰利號　高級リノール蓄音機一台
和登洋行(日本橋通)　電氣アイロン一個
市場內 杉尾商店　洋皿二十八
北原紙店　貴婦人用チリ紙五〆
現代號　タオル二ダース
森野商店　令揆給 硯箱三個
赤木洋行　キンボー石鹸一ダース
丸德商店　高級コーヒ茶碗一ダース
西村洋行　大黑葡萄酒半ダース
金華堂　金象眼楯一個
河久商店　コーヒ茶碗半ダース
金城靴店　靴クリーム一ダース
泰和號　高田リノール蓄音機一台
福田商店　佐久間ドロツプス三ダース
平本洋行　茶ボンユウム藥かん
みしまや　座蒲團地一反
[illegible]

▲精養軒で艶色を歌はれてゐたヒトミ、先頃內地へ引揚げるとホールから姿を消したので、ヒトミファンの落膽は勿論內氣なクーさんへ知れず小さい胸を痛めてゐます、しかしヒトミ君の丸髷姿を市中でチヨイチヨイ見受けますがクーさんお氣分は如何です▲以前に笠にゐたタエ子、双葉洋行の〇〇さんとチンカモで築いた愛の殿堂?に早くもヒビがいつたか、新京會館でダンサーとして……チ、チ、しませうよ……何を?▲モナミのマリ子〇〇部の〇さんとは切つても切れぬ仲昨年の夏以來西公園のボートに、松林の語らひに、その濃艶な姿を見せて人々を羨しがらせてゐたが、近頃は寒氣嚴しい折柄溫い疊の上で衞生運動?じやないのかとオカヤキ連の口はうるさい▲〇〇隊の〇〇さん八千代の豆千代のダンナは俺一人と自任してゐたのに、外にダンさんをつくつたとのうわさ、サヤキにフンガイして豆千代の大切なお尻を帶皮でビシヤビシヤお陰で豆千代デツカイお尻にシンニユウがつき、これではシゴトに不自由と淚ホロホロ(寫眞はモナミのマリ子)